

作業の目的

◆果実全体にムラなく、きれいに着色させます。

- ◆つる元の果実に密着している葉を摘みます。
- ◆葉の影になる部分や葉が果実に密着している部分を摘みます。
- ◆極力、葉を残して(葉を摘みすぎない)、果実にくっついていて葉だけを取ります。
- ◆ふじの葉摘みは9月下旬頃から行います。
- ◆あまり早い時期から多くの葉を摘むと、食味や着色の濃さに影響するので、2回に分けて葉摘みを行います。
- ◆朝の気温の低い時間帯に行くと、日焼けする可能性があるため、作業は控えます。
- ◆温度が上がるまでは下枝や太陽の影になる枝、ふところ枝などの葉摘みを行います。



葉摘み前



葉摘み後

作業の目的

◆果実全体にムラなく色を付け、果実の商品性を高めます。

- ◆葉摘み後に、葉を摘んだ部分が着色してから作業を行います。
- ◆枝に隠れて色がついていない部分に、色が付くように回します。
- ◆副梢が密着している部分を回します。
- ◆落果する可能性もあるので、回しすぎには注意しましょう(回す範囲は大きくても半周程度)。
- ◆葉摘みの時に取り忘れた葉も取りましょう。
- ◆朝の気温の低い時間帯に行くと、日焼けする可能性があるため、作業は控えます。
- ◆気温が上がるまでは、下枝や太陽の影になる枝、ふところ枝などを行います。



玉回し前



玉回し後